

副市長レビュー（春） 調書

1 部局名・区名(課名)	土木部 (道路課)	2 優先順位	1
3 事項名	交通事故危険箇所等重点対策事業		
4 目的	・平成 25 年度国交省と警察庁合同指定予定の幹線道路の事故危険箇所等において、総合的な事故削減対策を、警察など関係機関と協議・調整し、重点的かつ効果的に実施することで、実施箇所毎に交通死傷事故率約 3 割の抑止を目指す。		
5 現状及び課題	・市全体の交通事故の約 50%は交差点で発生、事故原因の多くが幹線道路等での追突事故などであり、道路延長 10km 当たりの事故件数も、市道を 1 とした場合、国県道が約 5 倍と突出しており、死者数の割合も国県道が約 70%となっている。		
6 事業概要	・市内でも特に交通死傷事故率の高い国道 152 号と 257 号の中沢町から伝馬町までの区間を最優先に、総合的な事故削減対策を実施する。 ・その他の交通死傷事故率が高い国県道等においても、交差点事故等削減対策部会などの関係機関と緊密に協議・調整して、速効性のある事故削減対策を実施する。		
7 関係法令等	交通安全施設等整備事業の推進に関する法律、社会資本整備重点計画法		
8 スケジュール(いつ、何をやるか)	・平成 25 年度 : 自転車走行空間を含めた総合的な事故削減対策の公安協議、速効性のある事故削減対策の実施 平成 26 年度 : 自転車走行空間を含めた総合的な事故削減対策の実施 平成 27 年度～ : 速効性のある事故削減対策の実施		
9 他都市等の参考事例	国土交通省(浜松河川国道・静岡国道・沼津河川国道事務所)交通事故ゼロプラン		
10 過去のレビュー等での審議経過	なし(新規提案) <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> その他	具体的内容	
11 副市長レビュー(春)で審議、確認したい事項(該当項目を□→■)	事業等の新規提案 <input type="checkbox"/> 既存事業の見直し <input type="checkbox"/> その他	具体的内容 ・国道 152 号・257 号などの幹線道路の交差点を含む事故危険箇所について、自転車等の安全な通行にも配慮した総合的な事故削減対策(案)	
12 担当ヒアリングでの審議事項(実施後記載)	【協議事項】 ・事故危険箇所対策の優先順位付けについて協議 ・総合的な事故削減対策について確認 【特筆すべき事項】 ・国道 152 号と 257 号の中沢町から伝馬町までを最優先区間と位置づけ、総合的な事故削減対策を実施し、あわせて自転車走行空間を創出する。		

	提案どおり進める	具体的内容
13 副市長レビュー(春)結果 (実施後記載。該当項目を□→■)	<input type="checkbox"/> 提案内容を一部見直して進める <input type="checkbox"/> サマーレビューで審議 <input type="checkbox"/> 再度、調査研究等を行い検討 <input type="checkbox"/> その他	
14 その他		